

門の向こうに広がる世界

いまなか たかふみ
今中 崇文
総合研究大学院大学 博士課程

急速に姿を消す路地

中国の首都である北京の旧市街地に残る、「胡同（フートン）」とよばれる細長い路地や横丁の存在はご存じの方も多いであろう。北京の下町に暮らす人びとの日常を描いた数々の映画、『胡同のひまわり（原題：向日葵）』や『胡同愛歌（原題：看車人的七月）』、『胡同の理髪師（原題：剃頭匠）』などの邦題には、原題にはまったく含まれないにもかかわらず、いずれも「胡同」が含まれている。このことから、その人気の程がうかがわれる。

わたしの調査している西北部の古都、西安にも同じような細長い路地があり、おもに「巷子（シアンズ）」とよばれている。明代に築かれた城壁に囲まれた旧市街地には、かつては数多くの路地があったというが、近年の都市再開発のなかで取り壊され、急速にその姿を消しつつある。

現在、西安市内でむかしながらの路地が残っているのは、わずかに旧市街地西北部の一画だけとなっている。そこは、およそ一・五キロメートル四方の限られた地域ではある



地域内の街並み

が、三万人ともいわれる回族が集住する地域としても知られている。回族とは、イスラームの信仰に基づく独自の習俗を保持している少数民族であり、それぞれの所属する清真寺（イスラーム寺院）を取り囲むように地縁的なコミュニティを形成している。この地域には一二の清真寺が並び立ち、それぞれに独立した、大小さまざまなコミュニティが存在している。

わたしは、この地域の回族コミュニティを調査するため、そのなかでもっとも規模の大きな清真寺に一年近く通い続けていた。

門の向こうに見える世界

調査をはじめた当初、この地域に知り合いもいなかった。調査の目的のようにならぬうちに、路地に足を踏み入れることはなかなかにできなかった。多くの路地の入口には門が設けられており、それを開けてなかに入っていくのははばかられたのである。たまたま門が開いているときになかの様子をうかがうと、路地に椅子をもち出して談笑している女性たちや、走り回る子どもたちの姿を見ることができた。その後、清真寺に足しげく通い、



清真寺での礼拝の様子

そこで知り合った方々の自宅に招待されるようになってはじめて、ようやくこれらの路地に足を踏み入れることができるようになった。

通りに面した門をくぐると、路地の両側にはコンクリート、もしくはレンガを積んで作った壁が続いている。ところどころに各家の門が設けてあり、ほとんどが鍵もかけずに開け放たれている。その長さには違いはあるが、わたしが足を踏み入れたことのある路地は、おおむねこのような風景になっていた。

路地で営まれる宗教行事

ある日、いつもお世話になっている方々が清真寺の宗教職能者（「アホン」という）の自宅でおこなわれる行事に招待され、わたしも同行す



行事開始前に談笑するアホンたち



清真寺内にある礼拝大殿での礼拝の様子

ることが許された。このときおこなわれたのは「乜貼（ニエティエ）」とよばれ、結婚や葬式はもちろんのこと、新築、転居、さらには子弟の大学合格など、さまざまな場合に営まれるものであった。

一行の後について路地の門をくぐり、奥に向かっていくと、多くの人が路地にもち出した椅子に座っていた。路地に面した家々では、主催するアホンの家でないにもかかわらず、可能な限りの机を並べて続々と集まって来る人びとを迎え入れている。われわれもまた、そのなかのひとつである知人の家に入り、用意されていたお茶やお菓子などをいただいたり談笑する。しばらくすると、窓の外からコーラン（聖典）を朗誦するアホンの声が聞こえてきた。コーランの朗誦は行事に参加した複数のアホンによって各章ごとに分担しておこなわれるため、路地のあちらこちらから朗誦の声が聞こえてくる。

コーランの朗誦が終わると、招待された人びとに食事や振る舞われる。これらの料理の調理や盛りつけもまた路地でおこなわれる。そこで使わ

れる調理道具や器、机などは清真寺から借り出されたものであるということは後になってわかったことである。

路地を同じくする人びとのつながり

このような経験を経ることにより、これまで清真寺を中心と考えてきた人びとのつながりのなかに、路地を同じくする人びとのつながりがあることが見えてきた。清真寺を同じくする人びとのあいだでも、場合によってはいくつかのまとまりにわかれることがあるが、その場合には往々として路地ごとにわかれる傾向があるといえる。

最初は足を踏み入れることもはばかられていた門をくぐり、路地で営まれる行事に参加できたことで、わたしの世界は確実に広がった。次はどのような門が待っているのか、期待に胸がふくらむばかりである。



知人宅でムハンマドを讃える預言者賛歌を朗誦する参加者たち